

中野区医師会からの大切なお知らせです！

若い女性に増えている
子宮頸がんは
ワクチンで
予防できます！

接種は（原則として）
住民票のある
自治体で！



中野区では
ここで
接種できます



子宮頸がんワクチン接種 無料期限迫る！

誕生日が1997年4月2日（27歳）～

2009年4月1日の女性（高校1年生相当）

接種期限は2025年3月31日まで！

6か月で3回接種する必要があります。そのためには、

1回目を2024年9月30日までに

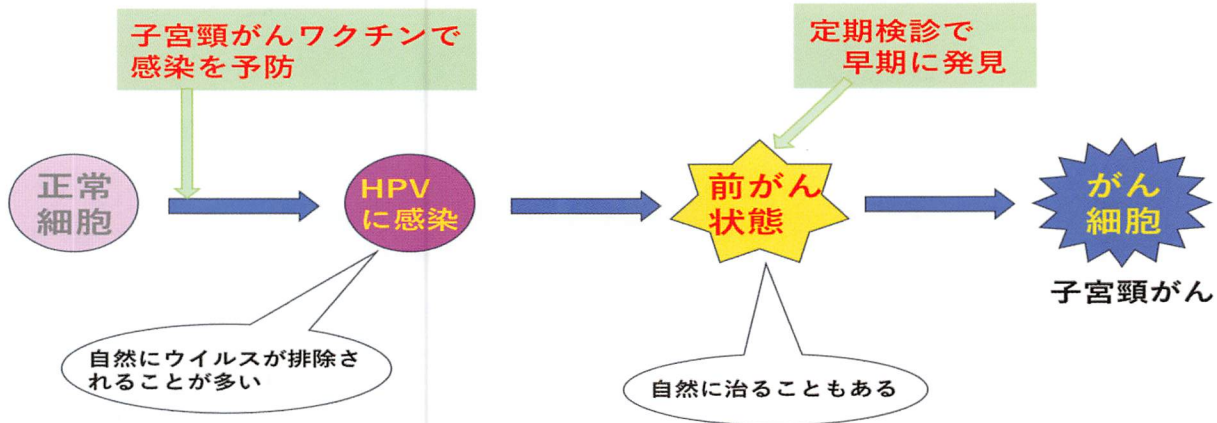
接種する必要があります。

このチャンスを逃すと自費で

約10万円の費用がかかります！

厚労省は接種を推奨しています。

子宮頸がんの原因のほとんどがヒトパピローマウイルス (HPV) です。



HPVはありふれたウイルスで80%以上の女性が生涯で普通に感染するといわれています。感染の機会のほとんどは性交渉によります。感染しても多くの場合は自然に排除され問題にならないのですが、一部で感染が持続することがあります。その場合、少しずつ細胞が変化していき、やがて子宮頸がんとなるものがでてきます。

子宮頸がんの予防にはワクチンと検診の両方が重要です！

子宮頸がんワクチンで
HPV感染を予防



20歳以降に
2年1回の定期検診

以下の方は公費で子宮頸がんワクチンを接種できます。

定期接種対象者

小学校6年生～高校1年生相当の女子

誕生日が2008年4月2日～

2009年4月1日の高校1年生相当の女子は
公費で接種できるのは2025年3月31日まで
(接種を完了するには2024年9月30日までに
1回目の接種が必要)

キャッチアップ接種対象者

誕生日が1997年4月2日～

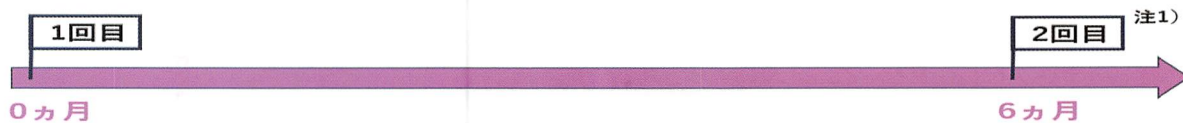
2008年4月1日の女性で

過去に子宮頸がんワクチンを
計3回受けていない方

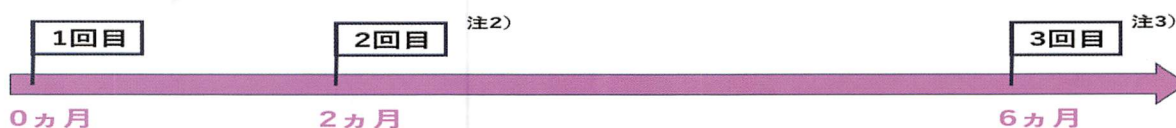
公費で接種できるのは2025年3月31日まで
(接種を完了するには2024年9月30日までに
1回目の接種が必要)

9価ワクチンの接種スケジュール

1回目を15歳までに受ける場合



1回目を15歳以降に受ける場合



注1) 1回目から5ヵ月以上はあける。5ヵ月未満で接種した場合は3回目が必要になる。

注2) 1回目から1ヵ月以上はあける。

注3) 2回目から3ヵ月以上はあける。

新しい9価ワクチンでは原因となるHPVの80～90%を防ぐことができます。

さらに子宮頸がんワクチンでは防ぎきれない型のHPVがあることやHPV感染以外の原因によるものも少数ながらあるので20歳以降の2年に1回の定期検診も欠かせません。

接種は原則として住民票のある自治体になりますが、詳しくは各自治体にお問い合わせください。